

実習レポート



2021年度
広島市有給長期
インターンシップ

2021年度 実施 スケジュール

5月～6月

①学内説明会
②参加申込

7月

選考

応募者多数の場合は
受入企業による選考の上、決定

9月～10月

報告書の提出

8月～9月

インターンシップ期間

実際に企業の一員として働きながら
課題に取り組む。

※途中、専門家へ個別相談が可能

7月下旬

事前研修会

企業の一員として
働く上でのマナー・注意点、
企業の組織についての説明

10月上旬

報告発表会
準備相談会

11月中旬

報告発表会

インターンシップの締めくくりに、
参加学生による報告発表会を実施

11月下旬

フォローアップ研修

インターンシップを通して
得た経験や知識を
就職活動でどのように
活かすかを学ぶ研修を実施

2021年度
広島市有給長期
インターンシップ

〈運営事務局〉
(株)KG情報 広島支社
☎ 082-243-8401
✉ h-intern@kg-net.co.jp

※本事業は広島市（経済観光局雇用推進課）からの受託事業です。

実習レポートもくじ

株式会社 I L C / 真鍋 未舟	1-2
アクト中食株式会社 / 山下 七央	3-4
アクト中食株式会社 / 井上 陽斗	5-6
アクト中食株式会社 / 木本 晃大	7-8
株式会社アサヒテクノリサーチ / 隠岐 嘉将	9-10
賀茂鶴酒造株式会社 / 葉 茜	11-12
有限会社管興商会 / 森下 陽音	13-14
西條商事株式会社 / 三上 春菜	15-16
株式会社ザメディアジョン / 則宗 菜月	17-18
シーコム株式会社 / 丸山 大地	19-20
生活協同組合ひろしま / 山根 尚之	21-22
生活協同組合ひろしま / 津田 陽彩	23-24
生活協同組合ひろしま / 角野 友亮	25-26
生活協同組合ひろしま / 岩永 真弥	27-28
中国開発調査株式会社 / 藤井 健一郎	29-30
一般社団法人 ディスカバー東広島 / 木原 愛実	31-32
一般社団法人 ディスカバー東広島 / 鍋島 萌花	33-34
トーホー株式会社 / 勝野 優希	35-36
トーホー株式会社 / 清水 美沙緒	37-38
社会福祉法人ひろしま四季の会 / 大山 由宇	39-40
広島市役所 下水道局施設部管路課 / 岡崎 麻央	41-42
広島市役所 道路交通局都市交通部交通対策担当 / 佐々木 美歩	43-44
広島三菱自動車販売株式会社 / 平野 陽也	45-46
株式会社ミヤベ / 森脇 啓介	47-48

参加大学

- ・近畿大学工学部
- ・広島工業大学
- ・広島市立大学
- ・広島文教大学
- ・県立広島大学
- ・広島国際大学
- ・広島大学
- ・安田女子大学
- ・比治山大学
- ・広島修道大学
- ・広島都市学園大学
- ・広島文化学園大学
- ・東洋大学
- ・京都産業大学
- ・京都女子大学
- ・武庫川女子大学

広報協力大学

- ・専修大学
- ・中央大学
- ・日本大学
- ・立教大学
- ・早稲田大学
- ・甲南大学
- ・同志社大学
- ・立命館大学
- ・龍谷大学

協力企業

- ・株式会社 I L C
- ・アクト中食株式会社
- ・株式会社アサヒテクノリサーチ
- ・アラハタ株式会社
- ・社会福祉法人 FIG 福祉会
高齢者総合サービスセンターチェリーゴード
- ・賀茂鶴酒造株式会社
- ・有限会社管興商会
- ・西條商事株式会社
- ・株式会社サコダ車輛
- ・株式会社ザメディアジョン
- ・株式会社 SANKYO
- ・シーコム株式会社
- ・株式会社シンセラ
- ・生活協同組合ひろしま
- ・農事組合法人世羅大豊農園
- ・ダックス株式会社
- ・中国開発調査株式会社
- ・中国自動車工業株式会社
- ・一般社団法人 ディスカバー東広島
- ・寺岡有機農場有限会社
- ・トーホー株式会社
- ・株式会社広島銀行
- ・社会福祉法人ひろしま四季の会
- ・広島三菱自動車販売株式会社
- ・株式会社ヒロテック
- ・社会福祉法人的場合
- ・株式会社ミヤベ
- ・リライアンス・セキュリティー株式会社
- ・広島市役所



インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

インターンシップを終えて一番に思うことはやはり参加してよかったということです。私はこの経験を通して今まで自分の嫌っていた理屈っぽく考えすぎるという点を長所だと捉えられるようになりまし。常に目標やビジョンを持つて生き生きと働いていらつる社員さんたちの姿を見て、考え続けることの大切さを実感しました。また、初めて社会人の方から客観的に自分を見ていただけたことで、自分の知らなかった長所や伸びしろに気づくこともできました。

長期だからこそ学べたことは？



どのような経験を今後活かしたいと思いますか？

今回のインターンシップで「意識をもつて働く」ということを学びました。自分はどうなりたいか、そのために何をすべきなのかを常に考えながら動く大切さを感じたので、今後の生活の中でも意識するようにしていきたいです。

これからインターンシップを考えている方へ

自分の知らない長所や伸びしろに出会えた2週間でした。これはやはり長期でなければ、この貴重な機会を無駄にするのはあまりにもったいない！少しでも興味のある方はぜひ参加してみてください！

〈Message〉
受入企業から
学生へ

初めての事で戸惑いなどあったかと思いますが、何事も挑戦し続ける、あきらめない姿がとても印象的でした。常に「自分にしかできない事」を意識して就業されており、本当に素晴らしいです。弊社企業理念の一つ【人には計り知れない可能性があります。】を忘れずにこれからも挑戦し続けてください。応援しております。

施設統括執行役員 薬師寺 羽衣



真鍋 未母

大学名 安田女子大学
学部学科 文学部 日本文学科
学年 3 年生

インターンシップ時の業務内容

- ・ 児童デイの利用者様の支援
(食事、おやつ介助、遊びを通じた支援など)
- ・ 生活介護の利用者さまの支援
(作業の支援など)
- ・ 利用者様の送迎 ・ 社内研修の受講

1日のスケジュール

- 09:00 出勤、朝掃除、朝礼
- 10:00 午前の支援活動
- 12:00 昼休憩
- 13:00 午後の支援活動
- 16:30 利用者様の送迎
- 18:00 退勤

インターンシップ前の期待や不安

子供と関わることなどが好きなので非常に楽しみにしていた反面、今まで障害を持った方と接する機会を持ったことが無かったため、利用者様や職員の方にご迷惑をおかけするのではないかという不安がありました。



努力したことや成長できたことは？

「利用者様にとって」を常に考えて行動しました。そのためにはまず利用者様のことを知る必要があったので積極的にコミュニケーションをとることを心がけました。最初は発語のない利用者様との関わり方や考えていることが分からなかつたため、非常に困りました。しかし、職員さんにアドバイスを頂き、段々とコミュニケーションがとれるようになったことで、次第に利用者様が考えていることを感じられるようになりました。コミュニケーションの方法は言語だけではなく肌で感じることもできたことは、インターンシップ中に感動したことの一つです。

苦労したことや悩んだことは？

最初の頃、知識・経験不足からくる不安や自信のなさのせいで常に受け身の支援をしてしまっていました。積極的に様々な支援を提案、実践されている職員さんの姿を見て、「このままではいけない」と反

前述の困難をどの様に乗り越えましたか？

まずは利用者様の持つ障害について調べました。また、分からないことや気になったことがあればすぐに職員さんに質問をし、知識や経験不足を補えるよう努力しました。その他には毎朝目標を立てて出勤し、帰ってからその日の学びや反省点をまとめるようにし、学んだことや考えたことを忘れないようにしました。そのおかげもあり、最後のころには積極的に動くことや自分で提案した支援をさせていただくことができました。



山下 七央

大学名 北九州市立大学
学部学科 法学部 法律学科
学年 3 年生

インターンシップ時の業務内容

主に常温・冷凍の倉庫にて
商品のピッキングやセッティング
その他、商品管理部の事務作業、営業同行

1日のスケジュール

- 08:30 出勤、セッティングの作業
- 12:00 昼休憩
- 13:00 A 社発送商品のピッキング・セッティング
- 16:30 B 社発送商品のピッキング・セッティング
- 17:30 退勤

インターンシップ前の期待や不安

以前インターンシップに参加したことはありましたが、その時とは趣旨が違うもので、どのようなのか不安でした。慣れない場所でモチベーションを持って13日間働けるだろうかと考えていました。



努力したことや成長できたことは？
私はこのインターンシップで、「社会人として身につけるべき礼儀を学び、自分が働くことに就いて大事にしたいことは何かを知りたい」という目的を持って参加しました。結果として、私はその両方を学ぶことができたと思います。毎日目上の人に対して適切な言葉遣いや態度を考えながら、どのように接すれば親しみを持ってもらえつつも失礼な態度にならないか、とても気を付けながら働きました。また、自分が働く中で、良好な人間関係と仕事のやり甲斐を感じられたら、モチベーションを持って働くことができるかと実感することができました。

前述の困難をどの様に乗り越えましたか？
なるべく社員の方に相談するようにしました。次にやるべきことが分からないという相談には「働き始めたばかりで分かるはずもないので、分からないことはすぐ聞いていい」と言っていたので、自分の作業が遅いことに焦りを感じたという相談には「早さより正確さの方が重要」とアドバイスを頂くことで悩みを解消することができました。目上の方に対する態度については、挨拶をきちんとし、敬語をしっかりと使う様に意識しました。

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。
自分の性質について知ることができた13日間であったと思います。自分が何によってモチベーションを上げられるか、どのような過程を経て物事に関心を持つことが出来るのか、といった、これから就職について考える際の判断材料になり得る部分を知ることができたのはとても大きな成果だと感じました。また、目上の方に対する態度や言葉遣いを特に気を付けたことで、丁寧でありつつも親しみやすく感じてもらえる適切な距離感を測ることができたと思います。

長期だからこそ学べたことは？



どのような経験を今後に活かしたいと思いますか？
自分が今、担当している業務が、全体の流れの中での部分を担っているのか意識することは重要であると感じました。知らなくても業務上に支障はないですが、よりやりがいを感じた、より効率的に業務を進められると思います。

これからインターンシップを考えている方へ
選択肢の中に興味のある企業がなくとも、別のインターンシップの経験がある方でも、有給長期という事で目的意識を持って参加することで得るものがあると思います。参加を迷っている方は、ぜひ応募してみてください。

〈Message〉
受入企業から
学生へ

最初は緊張のせいか、おとなしい印象でしたが、徐々に慣れて仕事も覚えて、積極的に質問もしたりしてくれました。自分を低く見積もらず、こちらで経験したことで、自信を持って社会に羽ばたいてほしいと思います。

商品管理部 坪井 英一



インターンシップ時の業務内容

- ・冷凍倉庫やドライ倉庫の作業
(検品・入庫・搬出)
- ・営業同行(お客様に商品を届け)

1日のスケジュール

- 08:30 出勤、仕分け作業の補助
- 09:30 商品の入庫作業
- 12:00 休憩
- 13:00 商品のピッキング
- 15:30 倉庫内清掃
- 17:30 退勤



井上 陽斗

大学名 近畿大学
学部学科 経済学部 経済学科
学年 3 年生

インターンシップ前の期待や不安

自分自身、初めてのインターンシップ参加ということもあり、お仕事の経験や様々なお話を聞くことができるという期待を持ちながらも、その反面、分からないことだらけで、迷惑をかけてしまうのではないかと不安がありました。



努力したことや成長できたことは？

私は、コミュニケーション能力が不足しているという弱みがあると考えていましたが、このインターンシップを通して以前ほど弱気にならず、人とコミュニケーションを積極的にとることができるようになったと感じます。例えば、仕事をすすめる上でだけ迷惑にならないよう、手が空いた時には自分から何をすべきかを聞いたり少しでも疑問に思えば質問をしました。人と積極的に話すのが苦手だったので質問の途中で、言葉に詰まったり言い出しづらい場面はあったものの、自ら主体的に動けるようになったと感じます。

苦労したことや悩んだことは？

このインターンシップで苦労したと感じたことは、「分からないこと、分からないこと、分からないこと」です。例えば、ある商品がどの棚にあるのかわからないという疑問や、道具をどこに片づけたらいいのかわ

いた疑問であれば、質問をすることで解決ができるのですが、商品の個数には様々な表記の仕方があり、それによって取り扱い方が変わるといふ当たり前に思えるようなことが、初めてであるがゆえに疑問に思うことがあらず、失敗をしようというところで、す。そのため、できるだけわからないことは放置しないように心がけても困ってしまうことが出てきました。

前述の困難をどの様に乗り越えたのか？

「分からないことが、分からない」という状態は、仕事の数をこなすうちに、徐々に得た質問ができるようになりました。担当の方に仕事を教えていた際に、情報を得ただけ多く取り入れるようにし、得た情報を元に積極的に動くことで、分からないことに気付けるようになりまし。その上で、機会があれば、すぐに質問ができる状態にしておくということが大事だと実感しました。



長期だからこそ学べたことは？

長期だからこそ1日で終わる説明会とは異なり、社員の方とコミュニケーションをたくさんとることができたと考えます。3名の社員の方の営業に同行させていただきましたが、三者三様の仕事の仕方や仕事への向き合い方を教えていただきました。また、倉庫での作業や、事務、営業など、多くの仕事を体験させていただいたことで、自分の適性であったり、これから就職するにあたって必要な能力などを

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

3週間という限られた期間の中で、仕事をすることの大切さを知りました。しかし、社員の方と一緒に仕事や会話をさせていただくことで、3週間という期間以上のものを得ることができたと考えます。また、それと同時にアクト中食様の、会社の雰囲気や方向性、お客様との接し方などの仕事を体験させていただくことができないようなことを身をもって知ることができて大変勉強になりました。

どの様な経験を今後の活かしたいと思えますか？

インターンシップ中は、挑戦の毎日でした。社員の方の後押しがあつてこそですが、今までに経験したことのないことをできたと考えます。今後もこの挑戦の気持ちを忘れずに、就職活動や社会人になつた後に活かしていきたいです。

これからインターンシップを考えている方へ

インターンシップに参加することは、自分の中にはないものを取り入れることのできるいい機会だと思います。それは、業界研究であったり、自己分析であったり、様々なことに影響を与えます。ぜひ、参加してみてください。



受入企業から学生へ

いつも朝元氣な挨拶をしてくれ、こちら元氣をもらいました。最初かなり緊張していたようですが、徐々に慣れていき、与えられた仕事を堅実にこなしてくれました。今後は、この経験も活かして、型にはまらず、自信を持っていてください。

商品管理部 坪井 英一





木本 晃大

大学名 広島工業大学
学部学科 生命学部 食品生命科学科
学年 3 年生

インターンシップ時の業務内容

倉庫での搬入・ピッキング作業・ピッキングした商品をリストを見ながらの仕分け作業、入荷した商品を棚に入れる入荷作業の補助、営業同行・仕入れ先への商品配達同行、事務作業・倉庫内の掃除

1 日のスケジュール

08:30 出勤・倉庫内の片づけ
09:00 入荷した商品の検品搬入
10:00 商品のピッキング
12:00 昼休憩
13:00 商品のピッキング
17:30 退勤

インターンシップ前の期待や不安

インターンシップ前は初めての会社勤務ということもあり自分の社会人としてのマナーが大丈夫か、会社の雰囲気になじめるかが不安でした。期待するところは食品卸の仕事に興味があったので業務内容を知りたいところでした。



努力したことや成長できたことは？
努力したことはまず与えられた仕事を一生懸命に最後まで確実にやり遂げる事を徹底しました。初日は初めての会う方しかいない中で緊張しましたが、何かわからない事があるとそのままにするのではなく積極的に質問し教えていただきました。質問や仕事を教えていただく上で日頃からのコミュニケーションをとることが大切だと思い挨拶を徹底し、良いコミュニケーションをとることができました。成長できたことは初めての環境でも挨拶を徹底し、積極的に行動することで仕事を一生懸命やり遂げて環境になじめたということです。

苦労したことや悩んだことは？

倉庫での搬入・ピッキング作業では自分の想像をはるかに超える種類の商品がある中、棚番を覚えて商品の位置を把握することに苦労しました。自分が一つのピッキング作業にたくさん時間をかけてしま

っている中、社員の皆様は短時間で、できはきこなしていたので自分の力のなさを痛感して何とか、追いつけるようにどうすればいいのか悩みました。検品作業では次々とたくさんの商品が搬入されてきて何をどうしたらいいのかわからなくなり、作業の速さに追いつけませんでした。その中で自分の仕事を見つけたことにとっても苦労しました。

前述の困難をどの様に乗り越えましたか？

とにかく社員の皆様にたくさん質問をして、がむしゃらに頑張りました。一度教えていただいたことは必ず忘れないようにメモをとり、行き帰りの電車の中で読み返して体に叩き込みました。次第に慣れてきて作業効率が上がったのもメモの復習のおかげだと思います。検品作業の速さについてはいけなかったら、一度外から周りを見渡して作業内容を確認することで仕事を仕上げ社員の皆様に教えていただき、乗り越えました。

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。
インターンシップを終えて、アクト中食の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。初めての経験に不安がたくさんあった中とても親切に温かい環境で迎え入れていただき貴重な体験をさせていただきました。質問をしたらわかるまで丁寧に教えていただき、楽しいお話もたくさんしていただきました。3週間という時間がとても短く感じました。この貴重な体験を今後の学生生活に活かしていきたいです。人間的にも社会人としても、とても成長できた3週間でした。

長期だからこそ学べたことは？

3週間という長期でしか学べないことがたくさんあり、食品の流通について深く知るための体験がたくさんありました。例えば、倉庫作業と営業同行の二つの仕事を体験できました。営業同行では様々な場所のお得意様を回らせていただき食品の流通の仕組みについて勉強させていただきました。商品を搬入・ピッキングしてお得意様に届けるまでの流通を実際に体験したことは、普通の短期インターンシップだと体験できていなかったと思います。



どのような経験を今後の活かしたいと思いますか？
インターンシップの時に徹底していた挨拶から始めるコミュニケーションを今後も続けていきたいです。コミュニケーションの大切さを長期インターンシップで改めて教えていただきました。

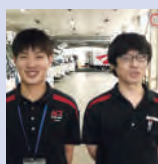
これからインターンシップを考えている方へ

何かわからないことがあったら必ず行動することが大切だと思います。自分は常に一人ではないです。必ず教えていただけるので最初の一步を積極的に踏み出してみてください。必ずいい経験ができます。

＜Message＞
受入企業から
学生へ

仕事に対しては常に前向きで、分からない事や教えてほしい事を自分から積極的に聞きに来ていましたし、元気の良い挨拶に好印象を受けました。今後も、その姿勢を忘れず、頑張ってください。アクト中食で働いたことにより、食品を扱う業種に、今まで以上に興味を持ってもらえればと思います。

商品管理課 柳父 慎二





隠岐 嘉将

大学名 広島大学
学部学科 理学部 化学科
学年 3 年生

インターンシップ時の業務内容

ゴムの定性分析(4種類のフッ素ゴムのIRスペクトルの測定、スペクトルの帰属・解析、4種類のゴムが特定可能かどうかを調べる)、SEM(走査電子顕微鏡)の体験、ゴミ質分析、ステンレス鋼の密度測定の前処理

1日のスケジュール

09:10 出勤
09:30 分析業務
12:00 昼休憩
13:00 分析業務
17:30 退勤

インターンシップ前の期待や不安

社会人として礼儀正しくできるか、自分の失敗で社員の方々に迷惑がかからないか不安でした。分析業務はすごく楽しみにしていましたが、分析を正確に行えるか、分析機器をきちんと扱えるかどうかが不安でした。



努力したことや成長できたことは？

前に前日に行った業務内容をノートにまとめて振り返りをしたり、その日にやる業務を確認してある程度イメージをだりしたことです。そうすることで、前日の繋がりを感じながら業務に取り組み、つまずいたところや上手くできなかったことができるようになると成長を感じ、より分析業務を楽しく行うことができました。成長できたことは、主体性を持って行動できたことです。毎日に、手が空いた時は自分から次の業務内容を聞きに行くようになりました。また、ゴムの定性分析で疑問に思ったことはすぐに質問し、別の分析方法で疑問を解決することができました。

苦労したことや悩んだことは？

正確な分析を行うためには前処理を丁寧にすることが非常に重要なのですが、中には前処理が緻密で体力が必要なものもあり、こなすのがとても大変な作業がありました。

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

やり切ったという大きな達成感、満足感を感じています。高精度の分析を行うことで、分析業務の楽しさを感じることもできました。社員の皆さんは思いやりのある素敵な方ばかりでとても働きやすく、とても充実した期間を過ごすことができました。社員の方々は何もわからない私に親切に接してくださり、楽しく会話をしてくださり、分らないことがあった時は何度もアドバイスを頂きました。本当に皆さんの方に助けて頂けて感謝の気持ちでいっぱいです。

長期だからこそ学べたことは？

短期では企業の紹介がメインで職場の雰囲気を知るだけで終わってしまいますが、長期では企業の様々な業務を体験することで、より明確に分析業界で働くイメージを抱くことができました。企業の深いので、分析業界に対する新しい発見や参加前の自分のイメージとのギャップを感じることもできました。また、興味があった分析業務で実際に働くことにより、仕事のやりがいや魅力を感じ、業務で求められる能力を実感することができました。

どのような経験を今後の活かしたいと思いますか？

インターンシップで自分に足りないものを発見できたと同時に自分の適性や強みも知ることができました。また、与えられた課題に対して、社員の方々に助けを頂きながらも乗り越えることができた。この貴重な体験を今後の学生生活や就職活動に活かしていきたいです。

これからインターンシップを考えている方へ

企業について深く学んだり、自分の将来について考えたりできます。また、社員の方々と交流することで、実際に参加しなければ分からないリアルな業界の知識を身につけることができます。皆さんもぜひ参加してみてください。



〈Message〉
受入企業から
学生へ

最終日に社内でテーマ(IRでのゴムの同定)の発表を行いました。資料は良くまとめられており、落ち着いて発表もできていました。質問にも問題無く回答できていましたので、化学が好きなのが伝わってきました。今回の経験が今後、隠岐君の職業選択の材料の一部になればと思います。1ヵ月間、お疲れ様でした。

第1分析技術部 分析1課 藤田 慎司





インターンシップ時の業務内容

賀茂鶴HP・中国代理店HPの情報の洗い出し
賀茂鶴HP日本語記事事項を中国語への変換
酒蔵案内のモニターツアー企画・運営・検証
酒蔵通りのモニターツアー企画・運営・検証

1日のスケジュール

- 08:30 出勤、朝礼
- 09:00 その日に取り組む業務
- 12:00 昼休憩
- 13:00 取り組んでいる業務の続き
- 17:30 退勤



葉 茜

大学名 広島大学
学部学科 大学院人間社会科学部研究科
学年 修士1年

インターンシップ前の期待や不安

初めてのインターンシップで、社会人としての知識が足りないのではないかと、自分の考えを日本語で正確に伝えられるかどうか不安でした。一方で、私のアイディアが実現できるチャンスなので楽しみにしていました。



努力したことや成長できたことは？
努力したことは、周りの方達とコミュニケーションをとることで、人見知りを少し克服できました。2回のインバウンド向けモニターツアーを企画し、グループワークでツアーについての意見交換をしたりすることで、相手の話をきちんと受け止めた上で、自分の考えをうまく伝えることができました。また、成長できたことは、主体性を持って行動することです。手が空いた時は、与えられた書類をチェックしたり、自分からできる仕事を探したりしました。主体性を念頭に置きながら動くことが社会人としての基本素質の一つだと学ぶことができました。

前回の困難をどの様に乗り越えましたか？
報告書を最初に作成した時は、わからないことを社員の方に聞きながら、自分なりに作成し、出来上がった報告書を社員の方がチェックしてくださいました。その時に書き方の指導も受け、その書き方を覚えて、次回の作成時に活用しました。また、意見の発言に關しては、打ち合わせの前に、自分の思いやアイディアなどを紙に書いて整理しておくことで、スムーズに表現することができました。

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。
一般的に、インターンシップの内容は、日常の業務を体験することです。しかし今回は、私が中国人なので、当初用意されていた映像編集という仕事内容から海外目線でのファン作りへ変更されました。そのため、賀茂鶴の裏側を見ながら、海外の方々と話しかけてきたことに感謝しています。それに、インターンシップを機に多くのことを学ぶことができましたし、未熟な私ですが、今回の私の働きが今後の賀茂鶴の発展に役立つことができれば、win-winだと思います。

どのような経験を今後の活かしたいと思いますか？
一つ目は文書の作成能力です。今回、二つの報告書を担当して、そこから文章作成のコツをたくさん学びました。二つ目は、課題を抽出する能力です。いろんな意見からキーワードを洗い出す力は大切だと思いました。

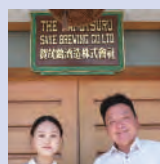
これからインターンシップを考えている方へ
インターンシップの最大の魅力は、さまざまな仕事内容を体験した上で、自分のやりたいことを見つけることができることだと思います。迷わず参加してみよう！きっと新しいインスピレーションが得られると思います。



〈Message〉
受入企業
から
学生へ

仕事ではHPの中国語翻訳やDMOと協力して西条酒蔵通りの活性化を目的とした外国人留学生とのモニターツアー・ワークショップでは多くの意見を取りまとめてくれました。事前準備や報告書の作成など沢山の経験をして、終盤では自分の考えや意見をはっきりと言える様になり頼もしく感じました。成長していく姿を見て嬉しかったです。

営業本部 営業三課 天島 健史





インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

暑い日も雨が降っている日も屋外で業務をしていたため、体力的に辛かったです。社員の方々と励ましあいながら、暑い雰囲気の中で業務に取り組むことができました。

身近なものである水道の仕事に関わることで、水道が使えるという当たり前のことを支えている沢山の人がいるということを知ることができました。普段は見ることができない仕事の現場を実際に見て体験し、仕事の大変さややりがいを感じられたことも非常に貴重であったと感じています。

長期だからこそ学べたことは？

長期のインターンシップであったからこそ、社員の方と密にコミュニケーションをとることができました。移動中の車の中や業務がひと段落した時に、社長さんをはじめ様々な方に働く上で心がけることや大事な事、そして水道に関わる仕事の課題についてなど、非常に勉強になる貴重な話を伺うことができました。また、実際の仕事を長期間体験することで、話を聞くだけでは分からないような仕事の大変さややりがいを、身をもって感じることができました。



どのような経験を今後に活かしたいと思いますか？

今回、自分から積極的に質問したり行動したりすることが出来たので、今後も続けていきたいと考えています。主体性は学校生活や社会人生活において必要なので、これからは積極的に行動できるようにしたいです。

これからインターンシップを考えている方へ

これまでどのような職業選択をすればよいか分からず不安でした。しかし今回実際に働くことを体験してみて、これから職業選択をする上で大事にしたいことが見えてきました。少しでも興味のある方は是非参加してみてください。

〈Message〉
受入企業から
学生へ

当初本人が思っていた仕事とは違っていた様ですが、日が経つにつれ前向きにやろうと言う気持ちを強く持っておられた様でした。今までも勉学に頑張ってきた様、これからも色々工夫される事で活躍の場は広がると思います。素晴らしいのは「今日終わらせよう」と言う言葉を度々発せられて大変うれしく感じました。

代表取締役 中原 司



森下 陽音

大学名 広島大学
学部学科 総合科学部 総合科学科
学年 2 年生

インターンシップ時の業務内容

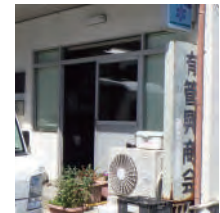
水道メーター取り換え業務同行・補助、取り換え後の水道メーターの返納、取り付け水道メーターの受け取り、水道メーター取り換え業務に向けての準備(メーター付け間違い防止のための札づくり、地図に印をつける)

1日のスケジュール

07:20 出勤
08:00 水道メーター取り換え業務
12:00 昼休憩
15:00 会社に戻り次第片付け、翌日の準備
17:00 退勤

インターンシップ前の期待や不安

インターンシップに参加する前は、大まかな業務内容は知っていたものの、具体的に何をするのが全く想像できなかったため、非常に不安でした。また、失礼な言動をとってしまったのか心配でした。



努力したことや成長できたことは？

努力したことは、主体的かつ積極的に行動するようにしたこと。日々の業務の中で、一つのタスクを終え、次に何をしたらよいか分からなくなってしまうことがありました。そういった際に、「何かできることはありますか」と自分から質問をして、自発的に仕事をするようにしていました。

また、業務の流れが分かるようになってくると、社員の方々に尋ねなくても自分で次に何ができるか探し、実行に移すことができました。自分の力だけで自分ができることを探して、行動できたことで成長できたと感じました。

苦労したことや悩んだことは？

取組課題である「水道メーター取り換え業務の効率化」社内での業務の効率化に対する有効な解決策がなかなか思い浮かばなかったことです。業務の流れがすぐに出来上がっている中で、どうしても更に業務を効率的に進めることができたと感じました。

前述の困難をどの様に乗り越えましたか？

日々業務に取り組んでいく中で、どのようなところに時間がかかっているのかというところに着目して、有効な解決策を考えていくようにしました。また、業務の中で効率化できるところが見つかった時はその都度メモに記録して、解決策を考える参考にしました。時間的な余裕があまりありませんでしたが、自宅からインターンシップ先までの移動時間など、少しの空いた時間を利用して、取組課題について考えるようにしていました。

るのかということ。インターンシップ中、常に考えていたが、なかなか明確な答えが出ませんでした。加えて、出勤中は業務に追われ、退勤してから、業務の疲れから取組課題について考える時間的余裕もあまりありませんでした。時間はかりが過ぎていき、日に日に焦ってしまっていました。



**インターンシップを
終えて率直な感想を
教えてください。**

初めは不安でしたが、今はやり切ったという達成感でいっぱいです。普段、社会人の中で過ごすことがないので、私も貴重な体験になりました。私生活では、絶対にできない経験をさせていただいたり、自身の成長を感じることができました。参加して良かったと思います。また、これまで何も気にせずに見ていたスーパーマーケットの売り場もたくさん工夫があることが分かり、買い物するときに、気にするようになりました。

長期だからこそ 学べたことは？

今回のインターンシップでは同じ業務を長期間やらせてもらうのではなく、私が見たいテーマに沿ったスケジュールを組んで下さいました。私のテーマが、「地場野菜や地元の生産者が作っている商品はどのようにスーパーに並んでいるのか、またどんな思いで作っているのかを学ぶ」というものでした。長期である分、多くの生産者を訪問することができ、想いや置かれている現状が様々であるという事を学ぶことができて嬉しかったです。



**どの様な経験を
今後に活かしたいと
思いますか？**

インターンシップ中に大学の授業で習ったことと、実際の生産者の立場とではギャップがあるという話を伺い、驚きまじり、とても大切ですが、今回の経験を活かして、実際に自ら学びに行くことを心がけたいと思いました。

これから インターンシップを 考えている方へ

これから就活のことを考えるという人もインターンシップに参加することで少しイメージがつかめると思います。少しでも興味があれば参加してみると長期休暇を有意義に過ごせると思います。

〈Message〉
受入企業
から
学生へ

本人の参加動機を満たせる様にと、スケジュールを組んだ結果、なかなかハードな内容になりましたが、真面目に取り組んでくれました。インターンを通じて1つのモノが人の手に渡るまでに、どれだけの人が関わっているのかを経験してもらえたと思います。自分がやりたい事で社会と関わり貢献していくことを期待しております。

商品部 課長代理 蔵田 拓



三上 春菜

大学名 広島大学
学部学科 生物生産学部 食品科学コース
学年 2 回生

インターンシップ時の業務内容

- ・生鮮市場、鮮魚市場の見学、
- ・生鮮部、鮮魚部にて梱包等の業務
- ・ベーカリーにてコーヒー研修
- ・取引先の農家さんやお店へ訪問
- ・移動スーパー「とくし丸」に一日同乗

1日のスケジュール

- 07:00 出勤、青果部
- 12:00 休憩
- 13:00 ベーカリー コーヒー研修
- 16:00 退勤

インターンシップ前の期待や不安

小売というお仕事について知らないことが多かったのでたくさん学べるというワクワクとうまくできるかという不安がありました。社会人の中に長期間入って活動するという経験がなかったので緊張していました。



努力したことや 成長できたことは？

インターンシップが終わった後、企業に対して何か提案をするということが課題だったため、その課題の提案ができればという思いで、インターンシップ中は常に、大学生がどのようなことを提案できるのかを考えていました。企業にとってプラスになることを提案するということは、難しいことでした。お客様が商品以外に、このお店を選ぶ理由があると強いと思ったので、私がインターンシップ中に感じたショーシジの魅力をj知って、もらえるように、広報誌を提案しようと思った。決めた後は生産者さんの訪問などの際にそれを軸に見たり、質問したりしました。

苦労したことや 悩んだことは？

インターンシップ先で色々な方が今日はどうだった？と聞いてくださったのですが、初めの方はなかなか自分が感じたことや考えたことを上手く言葉にできませんでした。

前述の困難をどの様に 乗り越えましたか？

まず、普段から何か行動するときあまり深く考えていないことに気が付きました。よって、何かする時には、よく考えるようになりました。人に自分の考えることを伝える上に難しく、話す時も、単純な言葉を突発的に返すのではなく、「面白い」と思ったかどうかして私は、そう思ったのかという自分の経験則をも含めて、考えるようにしました。このことで、上手く言葉で表現しやすくなったと思います。



インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

インターンシップに参加してよかったと思います。最初は自分ができるのかという不安の方が大きかったですが、周りの皆さんの温かいサポートもあり、楽しみながらあっという間に3週間が過ぎてしまいました。インターンシップを通して自分が頑張った取り組みんだ課題が形になり、大きな達成感も得ることができました。また、自分のことを社会人の目線で評価していた自分の知らない一面や長所を理解することができました。

長期だからこそ学べたことは？

出版社がどのような仕事をされているのか深く知れたことはもちろん、会社や働いている人たちの雰囲気を感じ取れたのは長期インターンシップならではの経験だったと思います。自分が社会に出て働く、というイメージができるようになりまし。取り組み課題であったカレンダーの作成も、実際に渡すものだったので、クライアント様のやりとりなく、短期では分からない部分を多く知ることができました。



どの様な経験を今後に活かしたいと思いますか？

インターンシップ中に意識していた「丁寧に仕事に取り組む姿勢」はこの業種においても必要とされることだと思っております。今後大切にしていきたいです。長期間働く、という経験は今後の就職活動に活かしていきたいです。

これからインターンシップを考えている方へ

長期インターンシップは大変そうだな、というイメージがあるかもしれませんが、頑張った分得られる経験は大きいと思います。迷っている方がいたら応募して絶対に損はないと思います。思い切っって是非チャレンジしてみてください。

〈Message〉
受入企業
から
学生へ

約3週間のインターン、お疲れ様でした。実習では書籍制作のスタートアップから、発刊後の書店フォローまでを体験してもらいました。中には大変なこともあったと思いますが、その都度、真剣に考え、丁寧に作業を進めてくれました。この実習が、則宗さんの今後の就職活動にとって意義ある時間となることを願っています。

編集制作室 室長 大田 光悦



則宗 菜月

大学名 広島市立大学
学部学科 国際学部 国際学科
学年 3 年生

インターンシップ時の業務内容

- ・校正、校閲
- ・カレンダー作成(ラフ作成やデータ入力など)
- ・販売促進課同行 ・ドリルの企画書作成
- ・著者プロフィールのPOP作成
- ・本のひとことコメントの作成 など

1日のスケジュール

- 09:50 出社
- 10:00 取り組み課題
- 12:00 昼休憩
- 13:00 校正、校閲作業、取り組み課題など
- 18:00 退社

インターンシップ前の期待や不安

インターンシップ前は社会人の方と関わる機会があまりなかったため、マナーや敬語が正しく使えるか不安でした。業務に関しては、出版社がどのようなことをしているのかを実際に知ることができるといい、ワクワクしていました。



努力したことや成長できたことは？

努力したことは、仕事を丁寧になすよう意識したこと、指示されたことがきんとてきているか、ミスはないかをしっかりと確認するようにしました。特にインターンシップ中ずっと携わっていた校閲業務では丁寧さが求められるため、細かい部分でも間違いないかを調べるようにしました。また、指示やアドバイスを聞き逃さないためにメモを取ることも意識しました。成長できたことは、インターンシップを通じて多くの社会人と関わる機会があったので、以前よりも敬語やマナーを使いこなせるようになったことです。

苦労したことや悩んだことは？

自分からアイデアを出すことが苦手で、苦労しました。インターンシップ中、カレンダーの表紙のラフ制作時や、ドリルの企画書を作る時に、からアイデアを出さなければいけない場面がありました。も

ともと自分から何かアイデアを出したり、提案することが得意ではないと感じていましたが、コンセプトや大ききといった縛りがある中でアイデアを出すのは想像していたよりも難しかったです。また、思いついたアイデアを人に伝えるのにも苦労しました。特にドリルの企画書ではわかりやすく伝えるためにどのようにまとめればよいのか分からなかったです。

前述の困難をどのように乗り越えたか？

「からアイデアを出す時は同じようなコンセプトの物や前例を参考にするといい」というアドバイスを頂いたため、最初にリサーチを頂いたのと、最初からアドバイスをもらって前例を参考にしました。ネットで行き、過去の出版例を見て参考にしたりしました。企画書を作る時には、自分中心の視点だけではなく、これを他の人が読んだ時に、自分の伝えたいことがきちんと伝わっているか、という視点を持つように意識しました。



インターンシップ時の業務内容

製品の製造工程表・作業工程表の作成、
CADを用いた3Dモデルの作成、治具の設計、
プレス・旋盤・溶接・レーザー・マシニング等
の作業工程の研修、製品の検査方法について、
特殊工程や非破壊検査の実習

1日のスケジュール

07:45	出勤
08:15	現場研修
12:00	昼休憩
12:50	現場研修
17:15	日報、明日の行動計画作成
17:30	退社

丸山 大地

大学名 広島大学
学部学科 工学部 第一類(機械システム工学系)
学年 4 回生

インターンシップ前の期待や不安

社会人として必要な能力や、仕事に取り組む姿勢について学びたいと張り切っていました。また、企業の方々にはそれぞれの作業や製品の納期があるので、研修の時間をとっていただくことで迷惑がかからないか不安でした。

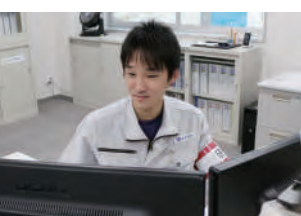


努力したことや成長できたことは？
インターンシップ期間中、私は挨拶や敬語、報連相をしっかりと行うことを目標に日々の業務に取り組みました。現場研修では毎日担当される部署の方が変わり、様々な加工工程について研修を受けました。そのため、初対面の方と1日仕事をすることが多かったのですが、挨拶は特に意識して実践していききました。ものづくりは1人で行うのではなく、チームで行うものなので、このインターンシップに参加することと、他人と円滑にコミュニケーションをとることが業務を行っていくことが重要だと改めて実感することができました。

前回の困難をどの様に乗り越えましたか？
とにかく分からないことに対して積極的に社員さんに質問をしました。社員の皆さんは親切な方ばかりで些細な質問にも真剣に考えてくださり、インターンシップ期間の後半には業務内容以外のことも、気楽に相談できるようになりました。また、自分の担当業務以外にも他の社員さん達が行っている業務や現場での機械の稼働率などを意識して作業を行っていくことで、徐々に製品の製造工程全体を考えられるようになりました。

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。
実際に社会に出て働くことも当初目標にしていたこと以外にも多くのことを学ぶことができました。私は大学で機械工学について勉強しており、今回のインターンシップでは大学で学んだことを実際の現場でどのように活かせるかを考えることを目標としていました。その目標を達成し、それ以外にも自分の将来や、日頃の生活について考え直す良いきっかけになりました。今後の学生生活をより一層精進していきたくと考えています。

長期だからこそ学べたことは？



どのような経験を今後の活かしたいと思いますか？
今回のインターンシップでは、ものづくりにおける技術的なことはもちろんですが、挨拶や時間管理、整理整頓など日頃の生活習慣が社会人にとってとても重要だと感じたので、今後の大学生活でも意識して実践していきたいです。

これからインターンシップを考えている方へ
はじめは急に社会に出され右も左も分からず不安でいっぱいでしたが、インターンシップを通して自分の将来や日頃の生活について考え直す良いきっかけになったので、迷っている方は是非参加してみてください。

〈Message〉
受入企業から
学生へ

研修最終日、モノづくりの基本である工程設計の実践を志願され、短期間で得たスキルを駆使し構想検討、モデル作成等必死に取り組む姿勢は、丸山さんの熱意を強く感じた瞬間でした。今後も何事にも物怖じしない強い精神力で、新しい事にチャレンジし、将来の目標達成に向け突き進んで下さい。ご活躍を期待しております。

航空宇宙管理部 生産技術課 山岡 勇樹





インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

初めて経験することがたくさんあり戸惑ったことが多かったが、自分を見つめ直すことができた。実際に業務へ携わらせていただき、企業の理解を深めることができた。インターンシップに参加する前は不安なことがたくさんあったが、仕事をこなしていくうちに不安が自信に変わり、参加してよかったという気持ちが高まりました。このインターンシップで経験したことを、今後に生かしていきたいです。

長期だからこそ学べたことは？

1日だけのインターンシップと違い、約2週間にも及ぶインターンシップなので、1日分の業務の流れを実際に体験し、実務を経験することで社会人としてのマナーや礼儀を学ぶことができたと思います。そして、実際にお客様や職員の方とコミュニケーションをとる機会があるため適切な会話の方法について知ることができました。また、仕事についての理解を深めることができたため、実際にインターン生として働き、認識のズレを修正することができました。



どの様な経験を今後の活かしたいと思いますか？

組合員さんや従業員と関わる機会が多く、人とのつながりが大切であると感じました。今後は傾聴力を鍛えることで、相手との信頼関係を築くことができる社会人になりたいです。

これからインターンシップを考えている方へ

1日だけのインターンシップとは違い、職場の雰囲気を知ることができる非常にいい機会だと思っています。また、自分のイメージしている仕事内容かどうか知ることができそうです。ぜひインターンシップに参加してみてください。

〈Message〉

受入企業
から
学生へ

自ら目指す職種に向けて、あえて生協ひろしまを選んでいただいたことは嬉しく思います。商品の企画・開発において原点に戻ることも必要になることがあります。いつの日か悩んだ時にこの体験が山根さんの原体験の一つになれば嬉しいです。苦手としていたコミュニケーションも期間中積極的に取り組んでいましたね。きっとその時には持ち前のステキな笑顔が自然にあふれていたのでは。これからも頑張ってください。

人事教育部 村上 晴久



山根 尚之

大学名 広島工業大学
学部学科 生命学部 食品生命科学科
学年 3 年生

インターンシップ時の業務内容

宅配…組合員さんへ商品宅配
店舗…商品の陳列・補充、移動店舗の販売同伴
サービスカウンターで贈答品の包装

1日のスケジュール

08:50 出勤
09:00 午前の宅配
12:30 昼休憩
13:30 午後の宅配
17:30 振り返り
18:00 退勤

インターンシップ前の期待や不安

企業が大切にしている理念や、業界・企業の仕事内容を深く知ることができるという期待が大きかったです。しかし、インターンシップ中に何か失敗したらどうしよう…という不安がありました。



努力したことや成長できたことは？

努力したことは、自分から積極的にコミュニケーションをとったことです。企業の中には、自分と同年代の人といれば歳が一回り上の人もいたり様々でした。はじめは、「おはようございます」「お疲れ様です」などといった簡単な挨拶でしたが、仕事をこなしていくうちに業務に関しての質問や日常会話などを自分から進んで話しかけるよう頑張りました。成長したことは、「報連相ができるようになったことです。当たり前のことですが、わからないうちはすぐに聞き、困ったことがあれば相談することができるようになりました。

苦労したことや悩んだことは？

苦労したことは、企業からの取り組み課題・個人目標を達成することです。インターンシップに参加する前に自分で個人目標を設定していましたが、実際に仕事をしていくうちに、自分が掲げた個人目標

を達成することができないと焦りを感じました。事前に行動計画を立てていましたが、仕事をこなすのに精一杯になってしまい個人目標について考えることまで頭が回りませんでした。また、初めてインターンシップに参加したので、どうすればいいのかわからずパニックになってしまいました。通りに動くことができませんでした。

前述の困難をどの様に乗り越えましたか？

自分が掲げた個人目標を達成するには、はじめに立てた行動計画では達成できないことが分かったため、一度落ち着いて、行動計画を一から見直すことにしました。具体的に計画を立てることで、課題達成に向けて取り組むことができました。また、同じ企業のインターンシップに参加した仲間と気付きやアドバイスなどを共有し合うことでお互いの課題点を見つけ、共にインターンシップを乗り越えることができました。



津田 陽彰

大学名 広島工業大学
学部学科 工学部 機械システム工学科
学年 3 年生

インターンシップ時の業務内容

- ・ 配送体験
- ・ 商品の前進陳列、商品確認、補充
- ・ お客様からの問い合わせ対応

1日のスケジュール

- 09:00 出勤、各商品の陳列確認、補充
13:00 昼休憩
14:00 各商品の陳列確認、補充
17:00 前進陳列
17:30 日報、今日の振り返り
18:00 退勤

インターンシップ前の期待や不安

インターンシップは今回が初めてだったため、時間通りにきちんと作業ができるか、組合員の方にご迷惑をかけないか等不安に感じていました。



努力したことや成長できたことは？

業務を丁寧にこなす事と、自身の事に気を向けすぎて周囲への気配りができていない状態になっていたのかの2点について努力していきまし。私は、慣れてくると動きが雑になってしまったり、自分のやる事が終わると周囲を見なくなる事が多く、何もなくなってしまうことがよくありました。そのため、今回のインターンシップでは1日の振り返りの間に、その日自分がやった失敗や周囲への確認ができていないかについて文字に起こしていきまし。途中からはありまし、周囲の状況に気付けるようになり、少し成長を実感できました。

苦労したことや悩んだことは？

特に悩んだ事としては、初対面の方に対して上手く話せない事でした。組合の方や担当の方から話を振って頂けたにも関わらず、話題を繋げないということができず、自身の話題性の少なさを痛感しました。

また、店舗業務の初日に商品の場所を質問されましたが、返答に困ってしまし、対応に遅れが出てしまし。この時自身の中で「初日だから覚えていなくてもしょうがない」、即座に聞くという考えが出なかつた。甘えの言ひの思考が出てしまし、自分の浅慮さや考え方にまだ甘えが残っている事も実感しました。

前述の困難をどの様に乗り越えましたか？

1 目に関しては、笑顔だけで作って誤魔化さないようにすること、極力幅広い話ができるようにすること、相手から話題を振ってもらうのではなく自分で話を引き出ししていくこと。3 点に注力していきまし。そして、笑顔で傾聴だけではなく、きちんと相手を打つことや自分の知っている話も交えて話すことで最初こそ苦戦しまし、会話が弾むようになりまし。2 目に関しては、陳列の最中や休憩時間に入る時に随時、確認するようにしまし。

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

自分にとって何が抜けているか、社会の一員としての心持ちをどう持つべきかを学ぶ事ができました。私は、将来について漠然としたものしかなく、危機感を持てていても、どうしたいのか自身の強みとは何か分からずいまし。けれども、今回のインターンシップによって明確なところまでは見出せずとも、自身の強みとは何か、克服すべきことは何かを掴めてきたと思いま。今回のインターンシップでの経験を今後活かしていきたいです。

長期だからこそ学べたことは？

短期ではなく長期だからこそ自身で改善すべきことに取り組めたと思いま。以前の自分だと、何か問題点を見つけても次の機会に直でつとして、結局直さずじまいになっていたと思いま。今回のインターンシップ参加により、「こめに、問題発見と改善を行う」ということの大切さを学ぶことができました。また、長期だからこそ様々な挑戦ができ、気付けたことをお店に提案するができたと思いま。

どの様な経験を今後に活かしたいと思いまるか？

今回のインターンシップでその日1日を振り返ることの大切さと対峙する相手ときちんと話すことの大切さを学びまし。1 日を見返すことは今後も活かしていきたいです。

これからインターンシップを考えている方へ

悩んでいるのなら一度行ってみた方がいいと思いま。行ってみることで自分の知らない考え方に触れたり、視野が広がるきっかけになるかもし。自分を見つめなおすことにもつながると思いま。



〈Message〉
受入企業から
学生へ

日々の事務連絡の返信の内容においても、津田さんの内面から溢れる誠実さをとても感じておりまし。このことは津田さんにとって「最大の強み」です。これから大切にしてください。自ら積極的に行動すること、発言することにおいてもこの期間の中では確実に前進しています。今の自分から一歩踏み出すことで出会えていなかったものに出会える、気づくことは多いです。インターン終了後も継続することで道は必ず開けてきます。頑張ってください。

人事教育部 村上 晴久





インターンシップ時の業務内容

- ・宅配業務
- ・店舗業務(品出し・ラッピング・カット)

1日のスケジュール

- 09:00 出勤・業務開始
- 13:00 昼休憩
- 14:00 業務再開
- 18:00 業務終了・退勤



角野 友亮

大学名 広島修道大学
学部学科 国際コミュニティ学部国際政治学科
学年 2 年生

インターンシップ前の期待や不安

私は自分のマナーや言葉遣いがきちんとできているかが不安でした。また、自分のこれまでのアルバイトなどで培ってきたスキルや長所がどこまで通じるのかという期待を抱いていました。



努力したことや
成長できたことは？

今回のインターンシップで成長できたことは仕事の効率化です。私は生協ひろしまさんで、店舗業務として品出しの業務をさせていただきました。その際に、陳列する商品をどの棚に陳列するかをあらかじめ決めておくことで効率良く品出しする事ができました。また、努力したことはビジネスマナーをしっかりと意識して業務にあたった事です。ビジネスマナーは自分ができていないと思っても実際には間違っている事が多くありました。どこが間違っているのかや合っているのかを実際の仕事を通すことで身につける事ができました。

苦労したことや
悩んだことは？

一番苦労したことは、ビジネスマナーの定着です。なぜなら、これまで自分が正しいと思っていた敬語や所作が所々ビジネスマナー違反であることも少なくありませんでした。普段通りの癖が染み付いていた

るためになかなか直す事ができませんでした。初めての環境で覚えるべき会社のルールなどもあり覚える事が多くあったからです。悩んだことは、自分のやっていっていることが本当に正しくて社会で通用しているのかという事です。マナーや言葉遣いは確かに意識がいつてしまっていたので、自分が今正しいことをできているのかと悩む事がありました。

前述の困難をどの様に
乗り越えましたか？

事前研修で教えていただいた知識やテキストを復習し、職場の方に自分から質問したりすることで、どこが悪くてどこが良かったのかをしっかりと自己分析しました。一日の業務が終わった後の週報の記入とは別に、自分の良かった点や悪かった点をメモに残しておく事で次の日に同じ過ちを犯す事なく業務にあたることができました。また、同じインターンシップ生達と確認し合うことで切磋琢磨し乗り越える事ができました。

インターンシップを
終えて率直な感想を
教えてください。

今回のインターンシップに参加して本当に良かったと感じました。何故なら、自分のイメージしていた仕事内容と実際の仕事内容のギャップを感じる事ができたからです。このギャップを埋めることで本当にこの仕事が自分のやりたい事なのか、自分にあった仕事なのかを吟味できました。また、学生の早い段階で社会人としての自覚などを感じる事ができた事で、早い段階で参加できたことで、自分の短所やこのまま伸ばすべき長所が見つかったのが良かったです。

長期だからこそ
学べたことは？

長期だからこそ短期ではできないような時間のかかる業務を体験することができました。短期だと業務を覚えることで精一杯だと思いが、長期では余裕を持って業務に長ける事ができるので、気付きにくいことに気付く、新たな発見に繋がりました。また、自分に足りないスキルや逆にこのまま自分が伸ばすべき長所を知る事ができました。この短所と長所を学生時代に知ることによって自分が就職活動や就職をした際に必ず役に立つと思います。

どのような経験を
今後に活かしたいと
思いますか？

店舗業務の品出しで学ぶ事ができた「仕事の効率化」を今後に活かしていきたいと思えます。これは社会人になっても、さらにはもちろん、学生の間の勉強やアルバイトでも必要になってくる事だと思ったからです。

これから
インターンシップを
考えている方へ

インターンシップに参加することで、実際の仕事を肌で感じる事ができるので、やりたい仕事のイメージが確かなものになります。そのため、早い段階からのインターンシップに参加することを強くお勧めします。



〈Message〉
受入企業
から
学生へ

もともとご存じであった店舗業態以外の生協ひろしまについて、この短期間でしっかり学び、実態をつかんでいただけたかと思います。特に宅配体験では地域の中に溶け込む、組合員さんとの関係性についてとても理解を深めてもらいました。角野さん自身はしっかり相手とのコミュニケーションをとれる強みもあり、社会人として必要な「報・連・相」もしっかりしておりました。そのうえで新たな課題も見つかったかと思いますが、大学生活の中で多くの体験を得て、克服してください。これからも頑張ってください。

人事教育部 村上 晴久



インターンシップ時の業務内容

宅配業務、店舗業務(品出し、袋詰め、事務作業)
移動販売見学、店舗業務(品出し)

1日のスケジュール

09:00 出勤、宅配・店舗業務
13:00 休憩
14:00 宅配・店舗業務
17:30 振り取り
18:00 退勤



岩永 真弥

大学名 広島大学
学部学科 総合科学部 総合科学科
学年 1 年生

インターンシップ前の期待や不安

私にとってこのインターンシップは初めて働く機会だったため、とても楽しみでした。その一方で、初対面の人と話することが苦手の私が組合員さんとうまくコミュニケーションをとることができるかととても不安でした。



努力したことや
成長できたことは？

インターンシップ中は見て学ぶことと、「結果から学ぶこと」を大切にしていました。特に、組合員さんと直接お話しさせていただく機会が多い宅配業務では、同業させていたスタッフの方はどのようなコミュニケーションをとっているのか、自分に足りないものは何かを考えるようにしていました。初めはうまくいきませんでした。試行錯誤するうちに、自分が知らなかったことに気づき、そうなんですね！と答えるだけで会話の幅が一気に広がることになりました。これからも主体的に学ぶ姿勢を大切にしていきたいと思っています。

苦労したことや
悩んだことは？

臨機応変な対応をすることがです。これは体験させていたいただいたすべての業務において言えることです。限られた時間の中で作業をしながら組合員さんとコミュニケーションをとる必要がある宅配業務で

は特に難しかったです。初めのうちは慣れない仕事をこなすことで精一杯で、組合員さんが話しかけてくださったことも多かったです。また、組合員さんの年齢層も様々で、普段お話しさせていただく機会が少ない年齢の方の話を伺うていただきたときは緊張してしまい、話しかけていただいてもあまりうまく反応することができませんでした。

前述の困難をどの様に
乗り越えましたか？

同業させていたスタッフさんの対応を真似させていたいたり、次の班への移動時間を使って自分の言葉を振り返ってみたりしました。初めはなかなかうまくいかず失敗してしまつていました。だが、少しずついいんだとスタッフさんが励ましてくださったこともあり、諦めることなく最後までやり抜くことができました。また、組合員さんも温かく迎えてくださった方が多く、「ありがとう」という言葉がとてもうれしかったです。



インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

力仕事が多く大変でしたが、このインターンシップを通して多くのことを学ぶことができ、今は参加してよかったと思っています。特に、生活ひろしまさんでは組合員さんの声を受けて様々な事業を展開していることを知り、コミュニケーションの大切さを実感することができました。また、私は一人暮らしをしているため家事も自分でしなければならず、実際に就職し仕事をするとそれほど大変か身をもって知ることができ、とても良い機会になりました。

長期だからこそ
学べたことは？

自分で考えることの大切さです。今回のインターンシップでは初めての体験が多く、「どうしてだろう」と思うこともたくさんありました。疑問に思ったことをその場で聞くのも大切だと思いますが、今回は自分で考える時間たくさんあったので一つ一つの疑問に対する答えをすぐに尋ねるのではなく、自分なりに考えて実際に検証してみたり、「私はこう考えたのですが、どうしてですか」と尋ねるようになりました。自分で考えることでより理解が深まったと思います。

どの様な経験を
今後に活かしたい
と思いますか？

主観的な立場と客観的な立場の両方に立つて考えることです。幅広い学問分野を学ぶことができてという総合科学部の利点を生かし、一つの考え方に固執せず、大学の授業で得た知識を日常生活にも活かしていきたいです。

これから
インターンシップを
考えている方へ

慣れない作業が多く大変なこともありました。インターンシップを通して大学では学べることができない多くのことを学ぶことができました。インターンシップは自分の視野を広げ、成長することができる絶好の機会だと思います。



〈Message〉
受入企業
から
学生へ

1年生の夏休みからこのインターンに参加する積極性が何よりも素晴らしいです。これからも岩永さんの強みになると思いますので大切にしてください。1週目の宅配体験の中でも担当者や組合員さんとの関わり、地域によって宅配に求めるニーズの違いなど幅広い視点で多くの気づきを得られておりました。若い世代の方が体験によって気づかれた点は、今後の私たちの活動の中でもとても重要視しています。この体験のフィードバックも期待していますが、インターン後も獲得した情報に対してどのように発信していくのかも併せて考えていただければ願っております。これからも応援させていただきます。

人事教育部 村上 晴久





藤井 健一郎

大学名 法政大学
学部学科 理工学部 機械工学科
学年 3 年生

インターンシップ時の業務内容

- ・測量補佐
- ・ドローン撮影
- ・画像解析

1日のスケジュール

- 08:30 出勤
09:00 測量業務の補助作業
12:00 昼休憩
13:00 測量業務の補助作業
15:00 測定データの解析
17:30 退社

インターンシップ前の期待や不安

インターンシップに参加することで新しい発見と自分の進路を具体的に考えるきっかけになったら良いと思いました。また、会社の方に失礼なことがないか、業務を遂行できるかが不安でした。



努力したことや成長できたことは？
今回、測量について様々なことを学びました。測量にはいろいろな方法があつてすぐ覚えるのは大変でした。そこで、自分になにがわからないことがあつたらすぐに聞くということを心がけました。それは普段の学習活動や作業活動にも活かせることで、普段自分はわからないことがあつても一人で考えるタイプなのですが、すぐに聞くという姿勢も大切だと思いました。また、説明を聞いて疑問点があつたらその場で聞いたり、どうしたらよりよい測量効率のよい測量ができるかを自分の頭で考える臨機応変なやり方も大事だと思いました。

苦労したことや悩んだことは？

測量の知識が何もない状態からのスタートだったので、最初は何をやっていいのかよくわからないう状態でした。例えば測量機械を覗き込んで定点を設定していくという測量作業を手伝わせてもらいましたが、自分は何を

やっているのかよく理解しないまま測量をしていたこともありました。よく原理を理解していないので自分のやるべきことがわからず作業が遅れたことが最初の反省点でした。また、森での作業は危険だから見学してと言われていたのですが、インターンシップとはいえお金をもらって働いてはいるので、見学するだけではないのかと悩んでいました。

前述の困難をどの様に乗り越えましたか？

測量の方法を新しく教えてもらったときは説明をよく聞きすぐに理解できるように心がけました。少しでもわからないことがあればその都度聞くようにしていました。見学の時も遠くから作業を見て手伝えそうなのがないか考えたり聞いたりしました。初日は見学でしたが、それ以降は森での測量作業も測量機械を操作させてもらったり、ピンホールという棒を持って定点に立つなど重要な所を任せられたり、一緒に作業もさせてもらえたりということになってよかったです。

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。
最初の頃は朝早く起きないといけない、朝から夕方まで働くというところで時間とても長く感じましたし、仕事をするのは大変だと思っていました。しかし、次第に朝起きるのにも慣れ、仕事の合間に会社の方とお話をしたりして過ごしていくうちに時間もあつたという間に流れていきました。会社の方が就職活動の話や仕事の話をしてくださつて、とても有意義な時間になりました。皆さんとても楽しい方、最終日は名残惜しい気持ちになりました。

長期だからこそ学べたことは？

他の会社のインターンシップは短期でオンライン形態が多い中、こうして長期にわたってインターンシップをさせていだけるのはとてもありがたく、良い経験になりました。長期インターンシップをやらせていただいた、その会社の実際の業務や雰囲気を知ったり、実際に業務に携わって仕事内容を知ることができたりして、短期インターンシップにはないとても有意義な経験になりました。働くことの大変さや意義を知るとても良い機会になりました。



どのような経験を今後に活かしたいと思いますか？
わからないことがあつたら積極的に聞く、自分ができるようなことがあつたら積極的に動くといった積極性を今回のインターンシップで身につけられたと思うので、今後の学習活動、就職活動に活かせたらと思います。

これからインターンシップを考えている方へ

この長期インターンシップに参加すれば、短期にはないさまざまな貴重な体験ができます。有給なのでお給料ももらえます。いいことづくめなので、もし迷っているのなら参加してみることをお勧めします。



短期間でUAVを用いた写真測量から3次元地形情報の画像処理まで覚えてもらいました。コマンド操作が多いので短期間で覚えたことに感謝しています。成果物作成の一工程ではありますが、作成する姿勢と間違ったことに対する適確な質問と考察は素晴らしいかったです。今後の就職活動に活かしてください。お疲れさまでした。

測量部 主任 松谷 紀之

〈Message〉
受入企業
から
学生へ



インターンシップ時の業務内容

東広島市黒瀬町を周遊してもらうための観光コンテンツの企画制作、ふるさと納税返礼品の申請書・ラベル制作、東広島へのアクセス情報の記事制作、企業訪問(黒瀬商工会、香木堂)

1日のスケジュール

08:30	出勤
09:00	ふるさと納税返礼品申請書作成
12:00	昼休憩
13:00	企業訪問、観光コンテンツ企画
16:00	ミーティング
17:15	退勤

木原 愛実

大学名 広島経済大学
学部学科 経営学部 経営学科
学年 3 年生

インターンシップ前の期待や不安

社会人はどんな感じなのかを知ることができる点と、初めてインターンシップに参加することで、どんなことが得られるのかという点で期待が大きかったです。しかし、社会経験のないことで会社に迷惑をかけないかすごく不安でした。



インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。
はじめは緊張しましたが、ディスカバーの方々がとても親切にしてくださりインターンシップに参加してよかったと改めて思います。初めての社会経験は毎日勉強で、とても充実した2週間を過ごすことができました。そして同時に、自分には足りない部分が多いことも痛感しました。自分の説明したいことをうまく説明できないものだし、やや、積極的に話すコミュニケーション力が足りないと感じたので、大学生活に活かしていきたいと思っています。

長期だからこそ学べたことは?
社会経験を実際にできたのは大きいと思います。1 Dayのインターンシップだと企業説明に偏ってしまい、会社の雰囲気、会社の仕事内容を細部まで知るには限界があります。その点で長期では1 Dayにおけるデメリットを解消できたと感じました。参加したことで社会人になるとはどのような感じなのか、自分に足りない部分があることを知ることができました。社会に出る前にこれらを知ることができたのは、就職活動においても強みになるのではと考えています。



努力したことや成長できたことは?
毎日メモを取ることを意識しました。普段からメモを取ることはしていましたが、改めて重要だと実感しました。メモは案外、全然違う場面で役に立ったりするので、これからもメモを取ることは大切にしていきたいです。成長できたことは就職活動に対する姿勢です。今まで漠然と将来のことを考えていましたが、インターンシップに参加することでリアルに将来のことを考えるようになりました。例えば、自分にはこの部分が足りなかったから大学生活ではこれを意識して取り組むなど、やるべきことの具体化ができたことは以前の私に比べて成長できたと思います。

苦労したことや悩んだことは?
黒瀬町の企画制作で、ラーメンとカレーを用いた企画づくりをする際、この2つを盛り込んで考えることに苦労しました。そもそも黒瀬町にラーメンとカレーがあることも知らなかった。

前回の困難をどの様に乗り越えましたか?
私は知らないことを逆にラッキーだと思い、自分だったらどんな企画だと黒瀬町に行ってみたくなるだろうという風に情報を調べていたら、やはりひき目で見てしまいがちな町の情報を知っていたら、入ってみようと思います。しかし、何も知らない視点が入ると新しい企画もできるのではとポジティブに考えました。自分に置き換えて企画を考えることができたので、黒瀬町の魅力も知れてとても楽しかったです。

らず、自分は20年も東広島に住んでいながら全然東広島のことを知らなかったんだという衝撃を受けました。自分なりに黒瀬町のことを勉強したり、家族に聞いたりしました。その中でもディスカバーの方はいろんなことを教えてくださり、実際に黒瀬商工会にも訪問させていただき黒瀬町のリアルなお話を聞くこともできました。

どの様な経験を今後に活かしたいと思いますか?
今回インターンシップに参加したことでいろんなことを得ることができたと思います。今まで気づけなかった自分の将来像や、今自分に足りないものを知ることができました。今回得たことは今後の大学生活や就職活動に活かしていきたいです。

これからインターンシップを考えている方へ
私は将来の夢が漠然としていて、とりあえず経験してみようという気持ちで参加してみましたが、そんな中でも得られたことはたくさんあります。迷っていたらぜひ参加してみてください！この経験はきっとこれからの財産になります。

〈Message〉
受入企業から
学生へ

木原さんには飲食店のプロモーション企画に主に取り組んでいただきました。期間中は、こちらから与えた課題に対して独自の視点で分析して意見を述べたり、積極的に事務局の仕事や学ぼうとする姿勢が非常に印象的でした。これからも、前向きに取り組む姿勢は忘れずに、活躍することを期待しています。

事務局長 河本 辰也





鍋島 萌花

大学名 広島大学
学部学科 経済学部 経済学科
学年 2 年生

インターンシップ時の業務内容

福富町・豊栄町・河内町の周遊観光コンテンツの企画提案(企画書の作成、事業所訪問)、ふるさと納税返礼品に関する業務、東広島市立美術館と東広島芸術文化ホールくららに関する記事作成

1 日のスケジュール

08:30	出勤
09:00	ふるさと納税返礼品申請書の作成
12:00	昼休憩
13:00	観光コンテンツの企画
17:15	退勤

インターンシップ前の期待や不安

社会の中で働くことで普段の大学生活では得られない体験ができることに期待を抱いていました。一方、インターンシップに初めて参加したので、ビジネスマナーや職場に馴染めるかという点で不安を感じていました。



努力したことや成長できたことは?
自分の考えや職員の方から頂いたアドバイスやメモをノートにメモすることに努めました。ノートには、コンテンツ企画の草案やレビュー会議で頂いたアドバイス、事業所訪問で伺ったお話し、一日の振り返りなどを記しました。はじめは、その場で思い付いたことや聞いた話を忘れないためにメモをしていましたが、ノートを振り返りながら書き記していくことで、一貫した発想プロセスのもとで企画をブラッシュアップしていくことができました。メモをすることの大切さを学ぶとともに、ノートを通して課題解決力が向上したと思います。

前記の困難をどの様に乗り越えましたか?
まず事業者の思いを反映するために、プロである職場の方々に積極的に相談しました。企画を運営するために改善すべきことや今までの事例について教えていただきました。そして消費者に参加したいと思ってもうために、私と同様にインターンシップ中だった木原さんに助けを求めたいなからという視点で考えました。随時多くの人に企画に対する意見を伺うことで、事業者と消費者のどちらのメリットも最大限引き出せるような企画を目指しました。

苦労したことや悩んだことは?
苦労したことは、観光コンテンツを企画する際に地域事業者にとつての利益と消費者にとつてのメリットとのバランスを考えることです。事業者の利益を優先すると、消費者がコンテンツに参加しなくなり、結局事業者も利益を得ることが

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

毎日8時間近く働くことは大変でしたが、日々の業務に楽しさややりがいを感じていました。そのため、10日間があつたという間に感じました。取組課題については、今までいち消費者としてしか生活していなかったことで、事業者目線で企画を考えたことがとても新鮮でした。私は中学生の時から東広島に通っていますが、課題に取り組むことでこの8年間知らなかった東広島の魅力を発見することができました。友人を誘って改めて東広島を観光したいと思います。

長期だからこそ学べたことは?

社会で働くイメージをより具体的に膨らませることができました。そして長期的な課題に取り組むことで、社会人として大切なことをたくさん学びました。その一つが、最初から最善策を作り出すとせず、より良いものを徐々に作り上げていくことが大切であるということです。失敗を繰り返すうちに何が上手くいかなかったのか、どうしたら成功するかを考えるきっかけになります。長期だから得られるものが多くあり、経験値も積めるということを学びました。

どのような経験を今後に活かしたいと思いますか?

ビジネスの現場では、書類作成や調査分析などでパソコンを想像以上に使用することを学びました。この経験から、これからはもっとパソコン操作の知識を身につけたり、タイピングの練習をしたりしていきたいと思っています。

これからインターンシップを考えている方へ

インターンシップで得られる経験は何にも代えがたいもので、想像よりも多くの学びが詰まっています。インターンシップに参加するか迷っているとしたら、勇気を出して参加してみることをお勧めします。



〈Message〉
受入企業から
学生へ

鍋島さんには観光の周遊企画に主に取り組んでいただきました。期間中は、広島県中央商工会の方や地域の事業者などとコミュニケーションを重ね、話し合いをした内容はきちんとメモをとり、難しい課題に対して熱心に考えている姿が印象的でした。これからも挑戦する気持ちを忘れずに、活躍することを期待しています。
事務局長 河本 辰也





勝野 優希

大学名 県立広島大学
学部学科 人間文化学部 国際文化学科
学年 3 年生

インターンシップ時の業務内容

工場見学、イベントに向けた準備(工場見学レポートやマスクチェーン・サンプルカードの作成・インスタグラムにおける情報発信)、イベントにおける接客業務、新商品の企画提案、打ち合わせへの参加

1日のスケジュール

- 08:30 出勤・朝礼・レポート作成
- 10:00 SNS 投稿用写真の撮影と文章の作成
- 12:00 昼休憩
- 13:00 業務の続き・マスクチェーンの製作
- 15:00 サンプルカード作成・イベント販売用の商品袋詰め
- 17:30 退勤

インターンシップ前の期待や不安

社員の方とコミュニケーションを取ることができるか不安でした。人と話す際に緊張してしまい、会話が長続きしないことがあったり、積極的に話しかけることができなかったりするからです。



努力したことや成長できたことは？
自身に対して正直になることができたように思います。これまででは質問することが苦手で、分かったふりをしていたことが多くあり、それをため途中ですつとついたり、失敗してしまったりしていました。他人軸で考えてしまふ癖もあったので、自らの考えも大切にすることを心がけました。インターンシップ中の不安なことや不満足はその場ですぐに社員の方に尋ね、忘れないようにメモすることを意識しました。また新商品の企画提案ではお客様のニーズだけでなく、自身の気持ちも汲み取りながら考えました。

前述の困難をどのように乗り越えましたか？
最初からいきなり関係を深めることに囚われていたことに気づき、徐々に構築することを意識しました。最初はわからないことを尋ね、コミュニケーションを取る機会をできるだけ多く確保することを心がけました。会話することには抵抗が少なくなってきた段階で会社の方々と自分自身のこと、仕事についての話題を出すようにしました。時間をかけて距離を縮めることを心がけたことで良好な関係を築くことができたと思います。

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

予想以上に働くことと私生活を両立させることが大変であることとを実感しました。帰宅後は疲労のために最低限の作業を終えるとすぐに寝てしまうことが多く、趣味や勉強に取り組み余裕がありませんでした。休日も疲れを癒すため、普段以上に睡眠を確保したり、何もしないで過ごしたりしていました。インターンシップ中は全体的に仕事为中心的の生活になっていました。それだけでなく自身のことにも気を配ることは容易にできませんでした。知らないことを思い知らされました。

長期だからこそ学べたことは？

働くことの意味を知ることができたことです。短期よりも実践的に経験することができ、その本質をじっくり考えることができました。働くとは自身が表現したいことや成し遂げたいことを設定し、主体的かつ積極的に行動することであると考えます。目的を達成することができた際には働いていることを実感することができましたが、それが曖昧な状態である場合には何も成果を得ることができず、作業を淡々とこなしているだけであることに気付いたからです。

どのような経験を今後の活かしたいと思いますか？

社員の方との関係の築き方を活かしたいと考えています。インターンシップを通じて他者と関わる方法を学ぶことができたことは自身にとって大きな収穫でした。これからは初対面の方々とゆっくりと関係を深めたいです。

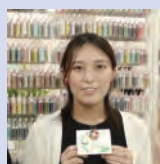
これからインターンシップを考えている方へ

インターンシップ前は不安ばかりでしたが、実際に働いてみると楽しいと感じることも多くあり、自身や進路を見直すきっかけにもなりました。働く経験をすることは自分に対して良い影響を与えてくれると思います。



〈Message〉
受入企業から
学生へ

勝野さん、研修お疲れ様でした。初日から工場見学というハードスケジュールでしたが、疲れを見せることなく仕事に励む姿が印象的でした。イベントでも率先してお客様に声掛けをし、一つ一つの作業を丁寧にやり、挨拶やマナーも既に身につけていましたので安心して接客も任せられました。今後のご活躍を期待しております！
企画部 福島 秀弥





清水 美沙緒

大学名 同志社大学
学部学科 商学部 商学科
学年 3 年生

インターンシップ時の業務内容

広報用素材作成(ビーズのカラーコード表のようなもの)、工場見学レポート作成(そごうに展示する用として)、Instagram投稿(7件)、宣材写真撮影、展示会準備・販売、新ビーズキット提案、バック詰め

1日のスケジュール

- 08:30 出勤・朝礼
- 09:00 レポート作成や宣材写真撮影
- 11:00 Instagram 投稿
- 12:00 昼休み
- 13:00 広報用素材作成(手芸や展示物)
- 17:30 退勤

インターンシップ前の期待や不安

2週間という長くも短い期間で、ただ言われた通りに業務をこなすだけになってしまわないかという不安がありました。この期間で何かしら価値あるものを企業に還元できたらなと考えていました。



努力したことや成長できたことは?
大学生目線でビーズのPRを提案することを努力しました。ここに力を入れようと思った理由は、企画部の仕事を体験させてもらう上で、やはり何かしらの新しい提案をすることが一番自分の成長につながるのではないかと考えたからです。また、インターン生として自分が貢献できるとすれば、学生ならではの視点で見ることができると思い至ったからです。自分から提案の場を設定してほしいと社員の方にお願いし、パワーポイント資料を作って簡単なプレゼンを見せてもらった経験は、提案力の自信に繋がりました。

苦労したことや悩んだことは?
どうしても自分が受け身になつてしまっているという感覚があり、それを払拭するためにはどう考えて行動すればよいのかということに苦労しました。たとえば、バック詰めや工場見学のレポート作成が早く終わり、時間を持て余し

た時、私は次に自分は何をすればよいかということを一社員さんに尋ねていました。しかし、「今特にやってもいいことはないかな」と言われる指示が増えるうちに、自分には指示を待つだけの受け身の姿勢ではなく、やりたいことを自発的に提案するような姿勢が求められているのではないかと次第に悩むようになりました。

前述の困難をどの様に乗り越えましたか?
努力したことと部分で書いたような提案を自分から行うことで乗り越えました。まず、TwitterやInstagramでビーズやハンドメイドに関する情報を収集しました。そして、自分の周りの学生の趣味趣向を思い浮かべながら新しいPRを考え、案を練りました。最終的に社員の方に発表の場を設けてもらうようにお願いしたという一連の流れによって、受け身から自発的な姿勢へと変わる事ができたと思っています。

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

まず、コロナを考慮してオンライン化するインターンシップが多かった中で、対面という形で実現していただけたことが本当にありがたいと思っています。そして、企業の方と直接お話をさせていただく中で、「自分は将来どうしたいか、なぜ働くのか」ということについて参加前とは異なる側面から考え直す機会を得ることができました。これから就職活動が本格化するという段階で今回の経験ができたことは非常に有意義だったと思っています。

長期だからこそ学べたことは?

社会人としての生活サイクルが具体的にイメージできたことが大きいです。それと同時にこれから40年ほど社会で働く上で自分か何を重視したいのかにより鮮明に考えられるようになったになりました。年収や福利厚生、やりがいや人間関係など仕事を選ぶ条件は様々ありますが、これらすべてを理想通りに叶えることは難しいと思います。今回のインターンシップでは、長期だったからこそ仕事とどう向き合いたいのかという自分の内面を深く掘り下げられたと思っています。

どのような経験を今後の活かしたいと思いますか?

公式Instagramアカウントを動かした経験は今後に活かせると思いました。自分の投稿が平均の2倍以上のいいねと閲覧数を獲得できたのでSNSの運用や広報が自分の得意とする分野であることを知ることができました。

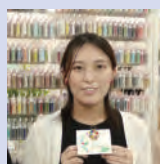
これからインターンシップを考えている方へ

私は関西の学生ですが、このインターンシップを検索で見つけて応募しました。結果、参加前に抱いていた期待以上に楽しく、貴重な体験になりました。悩んでいる方は参加して損はないと思います。



〈Message〉
受入企業から
学生へ

清水さん、研修お疲れ様でした。2週間という短い期間でしたが、大学生ならではの意見を聴くことができ、こちらも刺激になりました。また、考えをまとめて伝えることが上手なだけでなく、新鮮な情報をキャッチする能力に驚きました。清水さんの沢山の長所をより一層高めていって下さい。今後のご活躍を期待しております!





インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

ひろしま四季の会の皆さんへの感謝の気持ちが一番大きいです。インターンシップが始まるまで何も知らなかった介護の世界でしたが、職員の方全員のおかげでその見方がかりと変わりました。みんな同じ集団生活を毎日繰り返しているのが介護施設ではありません。日々、季節の移ろいや利用者の方の楽しみを見つけないから、より良い暮らしをサポートしようと奮闘しているのが介護施設です。その熱意をしっかりと感じられたのが四季の会での10日間でした。

長期だからこそ学べたことは？

特別養護老人ホームに入居されているのは、ほぼ全ての身の回りのことに介助が必要な方です。食事の介助・体位変換・おむつ交換の見学などをさせて頂く中で感じたのは、どのような時でも人は人として尊重されるべきであるということです。今は病気という逆らない流れの中にあって、一人ひとりに家族や自分史、大切にされていることがあります。人生の先輩としての敬意を忘れず、より良い生活をして頂くとうと試行錯誤し続けることの大切さを学びました。



どのような経験を今後に活かしたいと思いますか？

自分の感情を大きく突き動かされたのが今回のインターンシップでした。泣きそうになるほど感動したこと、嬉しかったこと、すべてを吸収しました。「何一つとして忘れない」これが自分なりの今後への活かし方です。

これからインターンシップを考えている方へ

自分が想像していた以上のものを学び、感じ、経験することができたのがこの10日間でした。有給かつ長期というこのインターンシップの特徴を活かし、最大限その企業の魅力を感じて下さい。きっと素敵で有意義な夏になります！

＜Message＞
受入企業から
学生へ

働くことと学ぶことを関連づけて認識され、インターンシップでの学びに関する意識が向上されていました。本事業を通して、ご自身の課題を発見、整理され、それに応じた学習課題を今後の大学での学びでさらに深められることを期待しています。「こころ」での出会いと学びが、これからの未来に繋がっていきますように。
特別養護老人ホームこころ みらい創造室・健康福祉室 主任 平本 真由子



インターンシップ時の業務内容

特別養護老人ホーム…食事の準備、部屋の掃除、
バイタルの計測などの介助
デイサービス…送迎車への同乗、入浴介助の見学、
レクリエーションの企画・実施、食事の準備

1日のスケジュール

- 09:00 送迎車への同乗
- 10:00 体操、レクリエーション
- 11:00 昼食の準備
- 12:00 昼食
- 13:00 工作、おやつ作り、ゲーム
- 17:00 申し送り会議への参加(デイサービス)



大山 由宇

大学名 安田女子大学
学部学科 文学部 日本文学科
学年 3 年生

インターンシップ前の期待や不安

祖母が地元のデイサービスを利用しており、いつも楽しそうに通っている様子を見ていたので介護施設でのお仕事にとっても興味がありました。ただ、介護や福祉に関する知識がゼロに近かったことは不安要素でした。



努力したことや成長できたことは？

利用者の方と話す時は、自分が良い話し手・聞き手であらうとすることをいつも意識していました。一人ひとりの名前を覚えておくことはもちろん、カタカナ言葉は避け、文末まで明瞭に話すこと、マスクの上からでも伝わる明るい表情を大切にしていました。

最終日、利用者の方に短い間だったけどあなたがいないとなると寂しくなるね、またいつでもいつしやい声をかけていただき、とても嬉しかったです。自分の意識を少し変えるだけで、会話の幅や人のつながりが広がっていくことを実感しました。

苦労したことや悩んだことは？

これまで高齢者と話す機会がありません。何と声掛けしたらよいのか、どのような話題で話しかけるのかと初めての1、2日は悩んでいました。何かお話ししてみたい心では思っているもののどこか気恥ずかしくなっていました。

まったのです。たくさんの方とお話してみたいと思ってインターンシップに臨んだにもかかわらず、いざその場面になると一歩引いてしまう自分がいまいた。職員の方はどのような時でも明るく、楽しそうに利用者の方とコミュニケーションを取られていたの、その姿はいつも私の憧れでした。

前述の困難をどのように乗り越えましたか？

習うより慣れよ、ではありませんが自分から気付けたい短い言葉であつても声を掛けることを意識しました。「今日はいよいよお天気にね」「お昼ご飯はどうでしたかなど、本当に些細なことでもいいと思うんです。要はあなたとお話したいんですよ、という意思表示をする」と、何より大切だと気付きました。頭で悩むよりも一歩踏み出してコミュニケーションのスタートラインを切ってみる、当たり前のように思えますが、とても大切なことだと再認識できました。



インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

率直な感想としては、下水道はすごく面白くて奥深いなと思いました。下水道という響きからして、まず良いイメージをもちにくい分野ですが、下水道Ⅱ汚水処理だけでなく、雨水排除などの役割も果たしており、大雨による浸水被害を軽減してくれると知った時、単純にすごいなと思いました。下水道がこの世になければ…とふと考えるの非常に恐ろしく、それだけ下水道が人々にとって当たり前な存在になっている今こそ、その存在に関心を持つてほしいと思いました。

長期だからこそ学べたことは？

通常のインターンシップよりも、業務内容を幅広く詳細に知ることができました。長期で時間はたっぷりあったので、座席で色々な知識を教えていただくだけで終わるのではなく、実際に関連する現場へ連れて行っていただける時間もあり、より仕事の内容を知ることができました。また、長期であったからこそ、職場の人と沢山コミュニケーションをとることができ、リアルな仕事の表情や職員の方目線の仕事の面白さ・やりがいを知ることができました。



どのような経験を今後に活かしたいと思いますか？

多くの職員の方と関わった中で、職場でのコミュニケーションの重要性をとても実感しました。人を知ることこそ大きな財産であるということも教えていただき、これから積極的に人を知ろうとする姿勢を忘れずにしたいと思いました。

これからインターンシップを考えている方へ

短期インターンシップが多い中、有給長期と聞いて不安に感じる方も多いと思いますが、自分のやりたいことが明確になるので、興味のある企業等が参加されている場合は参加すべきです！リアルな職場を知り自分の進路の再確認もできます。

〈Message〉
受入企業から
学生へ

市民にとって、あって当たり前の施設である下水道について、自ら職業体験することで、市民に分かり易く伝える方法について考えてもらいました。自ら感じた下水道の魅力と、誰にでも分かり易く伝える手段などについて企画・提案することで、市の職員になった自分を具体的にイメージすることができたのではないかと思います。

下水道局施設部管路課 松田 英士



インターンシップ時の業務内容

下水管工事現場・下水処理施設・雨水貯留施設
・樋門などの下水道施設や災害現場の見学、工事の周知チラシ作成や市内で起こった浸水等のデータ整理、個人宅の浄化槽を市へ譲渡するための書類説明に同行など

1日のスケジュール

09:00 業務開始
12:00 昼休憩
13:00 見学する現場へ同行 or データ整理など
15:45 退勤

岡崎 麻央

大学名 島根大学
学部学科 生物資源科学部 環境共生科学科
学年 3 年生

インターンシップ前の期待や不安

インターンシップ先は卒業後の進路の第一志望に考えており、本当にこの仕事は自分がやりたいことか、イメージと違わないか確かめたいと思っていました。また長期かつ実習生が一人だったので、心細くうまく職場でやっていけるか心配でした。



努力したことや成長できたことは？

努力したことは、業務を行う中で、自分が知らない専門用語なども沢山でてきたので、積極的に職員の方に質問するようにしました。また、質問した後は「〇〇は」ということなんですね」と自分の言葉に直してまた聞くことで、自分の中で深い理解を得ようと努めました。そして、指導してくださる職員の方の指示待ちにならないようか、「次はどうすればいいですか？」このような資料をできればいいのですが…など、自分から考えて動く事ができるようになったことが成長できた点です。

苦労したことや悩んだことは？

取組課題の、一般市民の方々に下水道工事や下水道への理解を深めてもらうための企画提案を考える際、まず自分が下水道についての知識・重要性・裏事情など多くの情報をしっかりと理解した上で課題

に取り組む必要があり、教えていた知識と、自分が現場で見たことをつなぎ合わせていく作業が苦労しました。また、このことを市民の方々に分かりやすく伝えるにはどのようなことに留意すべきか、また下水道に興味がない人に興味をもってもらうには、どんな切り口が必要か、とても悩みました。

前述の困難をどの様に乗り越えましたか？

インターンシップ初日から毎日、業務内容、気づきなどをノートにまとめるようにして、時間が空いた時にそのノートを見返し、取組課題への解決案を少しずつ考えてメモに残していきました。また、自分ももっと知りたいことや必要だと思ふ資料を職員の方に頼んで見てもらうようにし、自分なりに下水道への理解を深めていくことができました。そして、一般市民に向けた企画提案は、自分がその立場に立つて考えることを一番意識するようにしました。



佐々木 美歩

大学名 広島市立大学
学部学科 国際学部 国際学科
学年 3 回生

インターンシップ時の業務内容

- ・協議会参加 ・協議会の資料作り
- ・JR芸備線利用促進に関する業務(駅カードのデザイン探し、駅周辺おすすめスポット探し)
- ・鉄道の日の懸垂幕作成 ・SNS投稿
- ・公共交通の課題解決に向けた提案

1日のスケジュール

- 10:00 当日の業務確認
10:05 その日与えられた業務
12:00 昼休憩
13:00 午前中の続き、与えられた業務
16:45 退勤

インターンシップ前の期待や不安

今後の将来を考えた際、「民間企業」「公務員」かでなかなか決めきれない状態が続いていました。インターンシップ参加前は、こんな中途半端な状態で、参加してもよいのだろうかと不安に思っていました。



努力したことや成長できたことは?
努力したことは取組課題です。最終日に公共交通の課題に対する若者目線の解決策を提案予定でした。そのため、協議会に参加させてもらった際には、学びや考えたことをメモしながら課題を探そうにしました。すると、元々自分の意見を持つことが苦手でしたが、意見を考えながらお話を伺えました。また、成長できたことは、優先順位をつけて物事に取り組めるようになったことです。勤務開始前には、優先順位が高いものからやるべきことを書き出し、todoリストを作りしました。すると、重要度が高いものから取り組め、焦ることが減りました。

質問しても職員の方の迷惑にならないか」と悩み、質問するのに時間と勇気が必要だったことです。二点目は、物事をどこまでやりこむかということ。私は、完璧を求めてしまいがちで、仕事の中で、こだわらなくていい点までこだわってしまっていることがあり、業務のどこに力を入れて、どこを抜くべきか悩むこともありました。

前述の困難をどの様に乗り越えましたか?

一点目の「質問に関しては、一回質問したいことをメモに書き出すようにしました。そうすることで、思考が整理され、聞くべきことと自力で解決できるものが客観的に判断できました。なので、自信をもって質問できました。二点目の、「物事をやりこむ」点に関しては、仕事の目的やなぜその仕事があるのかを確認すること、その目的を達成できたらよいと考えられるようになり、時間のかけ方が変わりました。

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

都市交通部の方々は、皆さんとても優しく面白く、想像以上に毎日楽しかったです。また、町に新しい交通を入れるための協議会参加や、地域の交通を維持するための裏側の部分を知ることができ、普段経験できないことを多く経験できました。また、職員の方に一人ずつ質問させていただく機会もあり、公務員について具体的に知れたと同時に、社会人や社会とはどのようなものかも学べました。都市交通部の方々のおかげで、学びも多く充実した機会を過ごせました。

長期だからこそ学べたことは?

長期だからこそ一つの仕事が完結する過程を体感できたと思います。業務の一つに「鉄道の日の懸垂幕作成」というものがあり、幕のキャッチコピーからデザインを考え、決定するところまで担当させていただきました。また、キャッチコピーやデザインは、他の職員の方と案を一緒に考えていただき、その会議を仕切る経験もできました。その中で、自分の他者に対する問いかけやスケジュール管理など課題も新たに見つけることができました。



どの様な経験を今後に活かしたいと思いますか?

成長できたことの他に仕事をやる上で不明な点は、一人で抱え込むのではなく、誰かに相談したり現状報告として伝えたりと、時には他者を頼ることの重要性も学びました。これらを大学生生活など今後に活かしていきたいです。

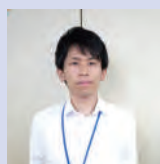
これからインターンシップを考えている方へ

「応募してもインターンシップに参加できないかもしれない。しかし応募しない限り絶対に参加できない。どんなインターンシップでも参加後は必ず何かを学べると思います。迷っている方は、ぜひ行動することをお勧めします！」

〈Message〉
受入企業から
学生へ

約3週間のインターンシップお疲れ様でした。初めは緊張した様子でしたが、徐々に他職員とも打ち解けていき、主体性・積極性を持って前向きに業務に取り組むことができていたと思います。このインターンシップでの経験を活かし、興味があると言われていた地方創生分野にて、今後活躍されることを期待しています。

道路交通局都市交通部 谷山 凜一郎





長期だからこそ学べたことは？
インターンシップ先ではどのような業務を行っているのか、どんな流れで行っているのか等を、より深く知ることができたのは一つの学びだと考えます。また、実際の業務や動作の二つ一つが勉強になりました。言葉遣いやマナーなどはお手本になり、それを目の前で見ることは社会の礼儀作法を学ぶ事においてとても勉強になりますし、それが長期であれば見るチャンスが多いので、そういった所は長期の特権だと思いました。



これからインターンシップを考えている方へ
アルバイト経験などが無い人や、将来、働きたいけど何をしたいか自分でも分からない人は、このインターンシップを受ける、職場の雰囲気や礼儀作法を体験することができるので是非参加してみてください。

どのような経験を今後活かしたいと思いますか？
私は面接で必ず緊張をするのですが、インターンシップ中に経験をした接客の仕方を思い出す事で、面接などでも少しは緊張をほぐすことができると思いました。就職活動に活かしたいと思っています。

南竹屋店 小泉 遥香



インターンシップお疲れ様でした。平野さんはいつも元気に挨拶していただいたり、お客様へのお茶出しや車両返却の為の洗車など様々なことを積極的に行っていたいただきました。今後の就職活動にこの経験をぜひ活かしてください。

〈Message〉
受入企業から
学生へ



平野 陽也

大学名 広島国際大学
学部学科 心理学部 心理学科
学年 3 回生

インターンシップ時の業務内容

洗車(一日限定)、接客・お茶出し、机や椅子等の除菌・電話応対、店内の飲み物の補充・ゴミ出し、トイレ掃除等

1日のスケジュール

09:00 出勤、床掃除・トイレ掃除
09:30 朝礼
10:00 開店、接客・電話応対
12:00 昼休憩
13:00 接客・電話応対
18:30 退勤

インターンシップ前の期待や不安

私は、働いた事が無いので、本当に働くことが出来るのかということや職場先の人達が私を受け入れてくれるのかといった不安を感じていました。また、期待していた事は、お客様と接する事と社会での礼儀作法を学ぶ事です。



努力したことや成長できたことは？
努力した事は、職場の人達に言われた事をメモを取る事や積極的に話す事です。成長できた事は、最初の業務でお客様の接客をしている時に動きが遅いと指摘があったので、それから迅速に行動をすることを心がけ、少し成長できたと思います。メモを取る事や積極的に話す事もインターンシップの業務を経て前よりも成長することができました。指摘してもらったことで自分を知ることができ、意識することができました。

前記の困難をどの様に乗り越えましたか？
インターンシップ先の人達に励ましの言葉や、こうやればよかったのではないかとアドバイスを受けた事によって乗り越えることができました。また、インターンシップ先の人達の電話対応の姿を見て学んだり、常に電話対応の事を考えて悩む事でも、自分の中で歌ったり、ゲームや漫画などといった楽しい事を思い出したりして心を落ち着かせて冷静を装うことで乗り越えることができました。

がどんな発言をしていたのか、どんな態度だったのか記憶も飛んでしまい、その時は暫く電話応対が怖くなってしまいました。

インターンシップ時の業務内容

本社へ出勤の場合…各課の仕事の内容説明と業務への参加
現場へ出勤の場合…業務の見学と作業への参加(測量実習、現場説明、ドローン操縦等)

1日のスケジュール

- 08:00 本社へ出勤
08:05 当日のスケジュール確認
08:10 各自業務の学習、実践
12:00 昼休憩
13:00 続いて業務の実践
17:00 退勤



森脇 啓介

大学名 京都産業大学
学部学科 法学部 法律学科
学年 3 年生

インターンシップ前の期待や不安

建設業界で「地元の安心安全への貢献」について学べる事を期待していましたが、これまでに見たことも経験したこともない業界であったため、このインターンシップにおいて実際の業務で何に従事できるのかという点がまず不安でした。



努力したことや成長できたことは？

今まで関わったことのない業界だったので、インターンシップ期間の10日間全ての業務をしっかりと知り、覚えることが重要だと思いました。与えられたインターンシップ中の課題として、知らない世界を見ることがあるスキルアップがあり、そうした面において非常に成長できたように感じました。努力した点は、主に現場において従事できることを探したこと。というのも、工事の現場では基本的に資格が無ければ主体的業務ができなため、資材運搬、荷物持ち等の作業を積極的に行いました。

苦労したことや悩んだことは？

本社においても現場においても言える事ですが、やはり実際の業務で何に従事できるかが悩みでした。従来のインターンシップは、ある程度、自分の専門分野や興味のあることに見合った事前課題を持ち、それに向かって行動するのが

目標となると思います。例を挙げるとすれば、接客業に興味がある人は営業系統の仕事を選択して、そしてノルマを達成する等の目標の立て方があるように思います。しかし私の場合には10日間あった期間で一日毎に異なる部署で働いたことも難しくする要因となり、具体的な行動目標を立てることが困難でした。

前述の困難をどの様に乗り越えましたか？

現在の私が実際の業務で何に従事できるのかが悩みでしたが、企業からこのインターンシップを通して自身のスキルアップしてほしいという課題を提案していただきました。それに従って、初めての業務を知ることに集中でき、結果として学ぶことに努めることができたので、研修を良い方向に進められたと思います。

インターンシップを終えて率直な感想を教えてください。

今回のインターンシップ参加は、自分が知らない業界の魅力に触れ、将来への視野を広げることができた貴重な経験となりました。問題の発見、解決のための基礎知識やスキルを身につけることで、自分ができる仕事を明確にすることができました。法学部の私が建設業の研修に参加したこととは挑戦でしたが、この経験が、将来の目標を定めることに繋がりました。受け入れてくださった株式会社ミヤベ様には本当に感謝しています。

長期だからこそ学べたことは？

株式会社ミヤベ様のご厚意によりインターンシップ中の10日間の研修で部署と現場を合わせて8つの異なる業務を体験させていただきました。私はインターンシップで知らない世界を見ることを目標課題としましたが、たかさんの業務を体験したことによって目標達成に近づけたと思いました。通常であれば、2、3の部署での経験になることを長期なので様々な業務内容に携わることができて良かったと感じています。

どの様な経験を今後の活かしたいと思いますか？

法学部の人間と建設業については一見関係が無いように思いましたが、経験はここで役に立つかわかりません。将来、工事に直接携わらなくても、間接的に関わるかもしれないので、知見を今後の仕事に活かせたら良いと思います。

これからインターンシップを考えている方へ

自分の分野と異なる研修先であると思っても、まずはエントリーシートを出してみることがお勧めします。少しでも興味があるなら応募を、企業側から受け入れてもらえることがあるからやってみてほしいです。



〈Message〉
受入企業から
学生へ

この度はお疲れ様でした。専攻されている学部学科とはまったくの異業種で、戸惑われたことも多かったかと思いますが、慣れない環境ながらも積極的にコミュニケーションをとろうとされる姿が印象的でした。今後、どのような道に進まれるかはわかりませんが、何かの折に今回の経験を思い出していただけましたら幸いです。
総務部長 齋藤 智美

